

栄町見聞録

第185号



執筆発行 栄町議会議員
野田 泰博 (立憲民主党)
栄町安食台1丁目8番7号
メール yasnodat8760@gmail.com
Tel 0476-95-3665



報告 6月2日

「太陽の蓋」上映会開催 福島原発メルトダウンの実態映画化

6月2日(日曜日)の上映会には印西市、鎌ヶ谷市、佐倉市、酒々井町、白井市、富里市、千葉市、船橋市、柏市、栄町の一一般市民と映画を作成した橋本義氏、当時総理大臣だった菅直人氏、立憲民主党中央の宮川伸衆議院議員総勢320名が参集。「太陽の蓋」の映画を鑑賞し、討論会が行われた。観客との質疑応答は白熱した。

映画の感想(抜粋)
河合弘之(弁護士)
本当に日本は崩壊寸前だった。どこかで誰かがギリギリの歯止めをかけた様子が具体的だった。
室井佑月(作家)
私たちはいつの間にか受け入れていたが、そこがもつとも恐ろしい。
樋口健二(ラオトジャーナリスト)
国民を欺いたリアリテイーとアクチュアリーテイーを見事に描き出した歴史的啓蒙映画だ。必見である。
松尾貴史(俳優)
テレビでは伝えられないことも多々...
鳥越俊太郎(ジャーナリスト)
まだ何も終わってないんです。原発で働く若者が叫ぶシーン。言葉が胸に重たく響く。
水野誠一(Thinkers Earth理事長)
その記憶は早くも風化し始めている。この映画は臍げな記憶を鮮明に蘇らせてくれる。
大谷明宏(ジャーナリスト)
どこに行ったら普通に暮らせるの?
(二部映画感想抜粋)

6月定例会議。町長不在(病欠)・副町長が職務代行 全議案可決で終了 6月定例会議の主な議案は 1 バス会社問題、2 消防組織再編成、3 消費税(10%アップ)

岡田町長の様子

岡田町長が体調不良で、入院、手術(心臓弁)となつた。手術は問題なく修了。7月には通常勤務を開始。皆に迷惑をかけて申し訳ないと言っていた。町長の仕事は激務。これからも元気に無理なく激務を続けて欲しい。

交通問題・安食駅・竜角寺台までの路線バスが問題

昨年度の赤字を栄町で補填してほしいとバス会社から要請があった。民間企業は赤字を続けると継続はいつか難しくなる。町営でバス事業ができれば、民間会社との妥協点を見つけないければならぬ。高齢化、バス利用者減少、利便性問題、問題山積みである。

(問題点)

龍角寺・安食駅線、買い物バス、布鎌線バス、成田イオン行休日バス、循環バス、新規路線バスなどいくつも問題点がある。今が正念場。町長の帰還を問題が待っている。

(背景)バス会社の過酷な運行での事故を防ごうと、運転手やバス会社の「働き方改革」、来年の東京オリンピックや地方のバス路線見直しで運転手不足となり皺寄せがやって来た。栄町は団塊世代の自家用車手放しが進み、これからのような策を講じるのか大きな視点で次の一手を打たねばならぬ。

広域消防組織再編

昨年栄町消防は印西市との広域消防事業を模索したが失敗。昔は国も小自治体でも消防本部を持つようにさせていた。栄町もスーパー堤防が出来た時、いち早く栄町消防本部にした。しかし、思

ったように町民人口は伸びず、反対に減少し始めた。何とかして人口増の施策を打つが、簡単に人口は増加しなかった。これは栄町だけの問題でない。県も気がつきうやく本腰をあげて県とし

て取り組むことになった。消防強化のため広域化を5年かけて再編計画を作ることになった。因みに副町長から今回の再編には印西市の滝田県議が並ならぬ努力をしてくれたと紹介があった。このような広域の問題はやはり県が中心となる。

幼児教育、無償化

町内にある0〜5歳児の保育・幼稚園施設、認可外保育施設は上限があるものの原則無料になる。全て一律に無料ではなく、子供の状況、育児施設環境によって変わる。一人一人の違う多様性を認識の上、対応が必要となる。一時預かり、病後児童や保育、障害児発達障害支援も含めてきめ細やかな対応が求められる。食費、第3子以降の子供など多数の制限が出てくる。職員は大変だが、まさに多様化の時代だ。

安食台小のグラウンド整備

国の交付金不採択で来年度事業となった。

房総の村テニスコート整備

国が不採択。来年度再度申請。鎌ヶ谷・本笠バイパス遅延

軟弱地盤問題で2年遅延。日医大にすぐにバスで行けない。

の奇跡的に免れた。注水ポンプをなぜ止めたのかとの質問に対し、菅さんは官邸からそのような指示は出ていない。ただいくら消防ポンプで水を炉に送っても、届かなかったことが最近わかって来た。排水管が複雑に枝分かれしていたため。

事故が収束できなかった場合の強制移転区域と移転希望を認める区域(菅さんから頂いた資料・全員に配布)



著者の指示で近藤駿介原子力委員長が試算し作成した(H23.3.25)、「福島第一原子力発電所の不測事態シナリオの素描」を基に地図を作成。菅直人「福島原発事故 総理大臣として考えたこと」2012.10.25